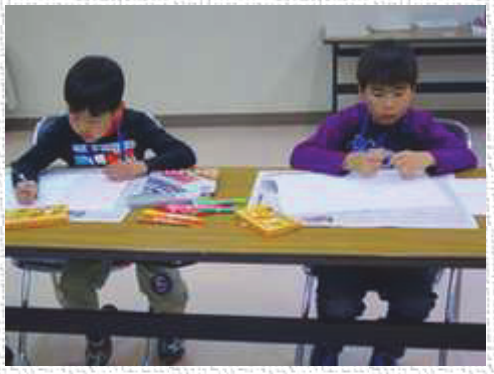
活動報告

鑑賞ワークショップ

ミロを見(み)てミロ，やってミロ！



自分のイメージする「太陽」「星」「月」を描いてみよう。

ミロが描いた，「太陽」「星」「月」をよく見てみよう。

「うわっ。これ何だろう」

ミロと同じように，さわった感触(かんしょく)だけをたよりに絵をかいてみるよ。
う～ん。けっこうむずかしいな…。

特別展『スペインの巨匠　ミロ展　－版画と色のおもちゃ箱－』の関連イベントとして，鑑賞ワークショップ「ミロを見てミロ，やってミロ！」を開催しました。

まず，自分がイメージする「太陽」「月」「星」を描いてもらいました。赤い太陽，黄色の太陽，まん丸な月，三日月，流れ星，彗星などいろいろあります。「太陽」「月」「星」として認識するものは同じでも，さまざまな表現方法があることが分かります。

その後，展示室に移動してミロの作品を鑑賞しました。ミロは，太陽・月・星・女の人など身近なものを，モチーフとしました。ミロの作品に描かれた「太陽」「月」「星」を見つけ，自分たちの描いたものと比べながら鑑賞しました。赤・青・黄・緑・黒などの鮮やかな色使いと，ユニークな表現に参加者も興味津々でした。

次にミロは，目かくしをして対象物に触れ，デッサンを行ったという話をヒントに，ミロの制作方法に挑戦しました。ミロBOXという中身が見えない箱に手を入れて，その感触で箱の中をイメージし，絵を描いてもらいました。実際に見たものをそのまま描くのではなく，感触でイメージしたものを描くという体験は，今までになかったのではないでしょうか。最初はむずかしそうでしたが，ミロBOXに手を通すたびに，自分のイメージがどんどんふくらんできたようです。

心の眼を通して描いた作品は，それぞれの個性が際立ち，ミロに負けないゆたかな感性が表現されていました。

＊教育普及のページに戻る＊

Copyright©Kure Municipal Museum of Art all rights reserved.